

平成22年6月30日

## 近畿管内における多重債務相談の受付状況について

## 【概要】

- － 相談件数は「収入の減少」や「事業資金の補填」などから対前年度比3割増
- 平成21年度における管内の相談件数は1,048件で、前年度に比べ31.7%増加した。
- 年齢別では「60代以上」が200件（19.1%）で最も多く、前年度に比べ件数・構成比ともに増加している。
- 職業別では「給与所得者」が434件（41.4%）で全体の約4割を占めているが、前年度に比べ「自営業」が204件（19.5%）、「無職」が194件（18.5%）と増加している。
- 借金の理由別では「低収入・収入の減少等」が324件（40.1%）と最も多く、「事業資金の補填」を含めると全体の6割程度となった。
- 相談を受け付けた1,048件のうち、約9割の911件について弁護士会等法律専門機関などを紹介している。

## 多重債務で多額の借金を抱えてお困りの皆様へ

この機会に専門家のアドバイスに耳を傾け、生活を立て直しませんか？  
相談は無料で行っています。勇気を持って、まずはお電話ください！！

## （多重債務相談窓口）

電 話：06-6949-6523（近畿財務局財務広報相談室）

06-6949-6875（                    //                    ）

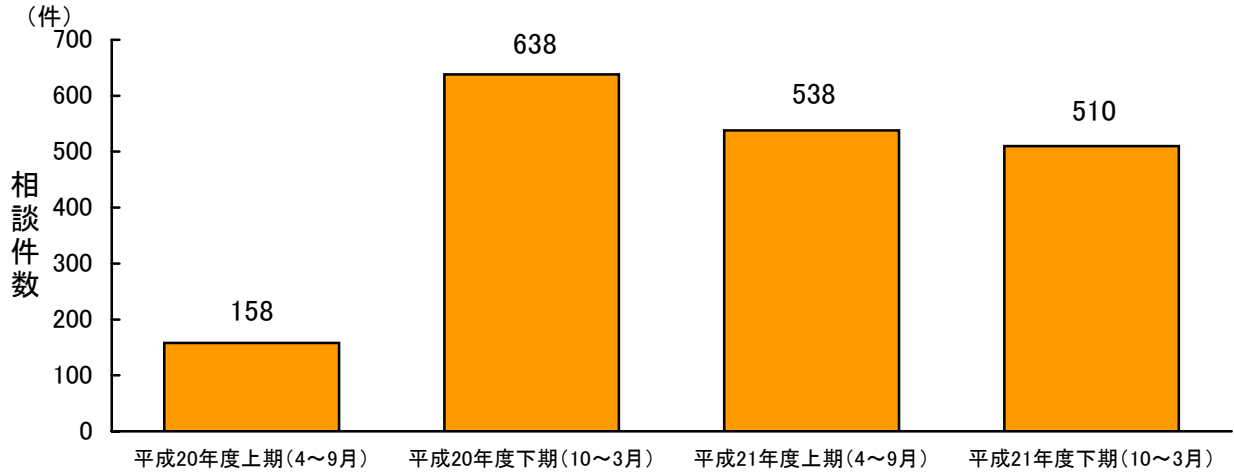
078-391-6948（神戸財務事務所総務課）

対応時間：月曜～金曜（祝日除く） 9:00～17:00

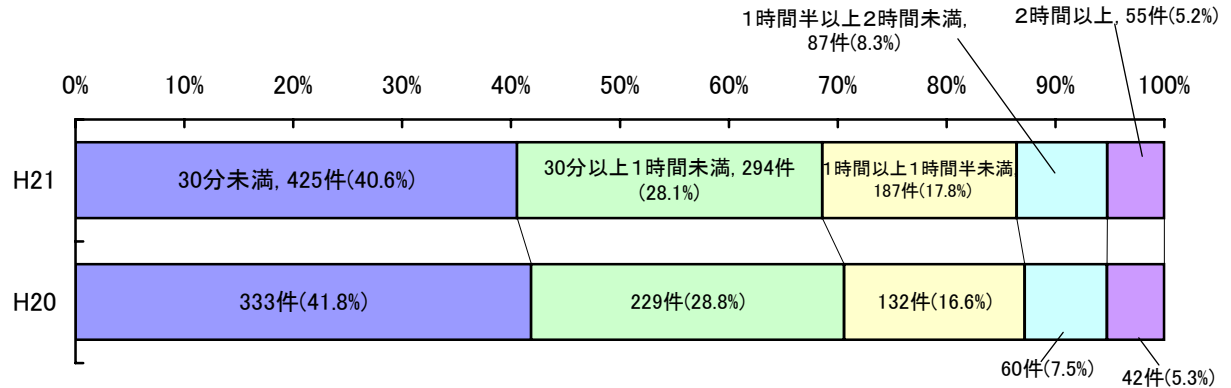
# 1 相談者数の月別推移

## » 平成21年度の多重債務相談窓口における相談件数は1,048件

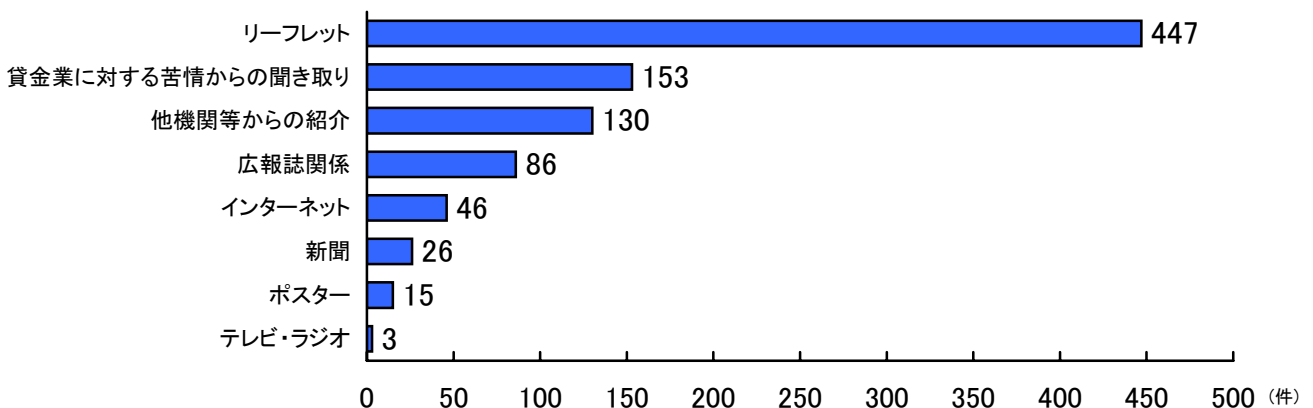
- ・ 近畿財務局が、平成21年度に窓口で受け付けた相談件数は1,048件で、前年度に比べ31.7%増加した。  
しかしながら、半期ベースで見ると、平成20年度下期以降、減少傾向にある。
- ・ 1人あたりの延べ相談時間は30分未満が最も多かった。
- ・ 相談に訪れたきっかけは、金融機関のATM等に備え置いたリーフレットを見たという人が最も多く、次いで貸金業者への苦情の聞き取りから多重債務相談に発展したものが多かった。



## 【1人当たり相談時間】



## 【相談に訪れたきっかけのうち、回答数の多かったもの(複数回答可)】

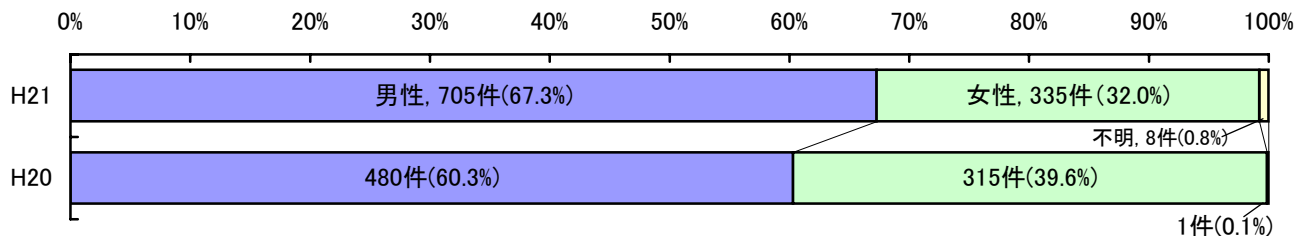


## 2 相談者のプロフィール

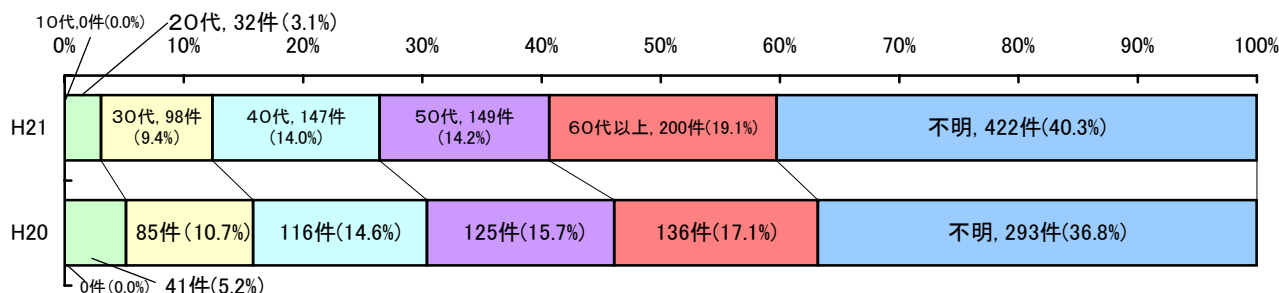
### ≫ 年齢別では「60代以上」、職業別では「無職」が増加

- ・ 年齢別にみると、「60代以上」が200件と最も多く、前年度に比べ件数・構成比ともに増加している。
- ・ 職業別にみると、「給与所得者」が434件で全体の約4割を占めている。前年度に比べ「自営業」、「無職」が増加している。
- ・ 年収別にみると、「400万円未満」が約7割を占めている。

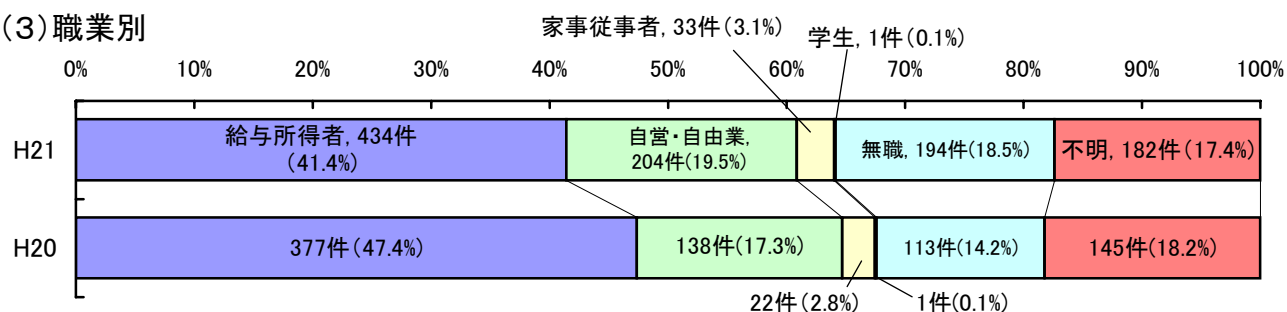
#### (1) 性別



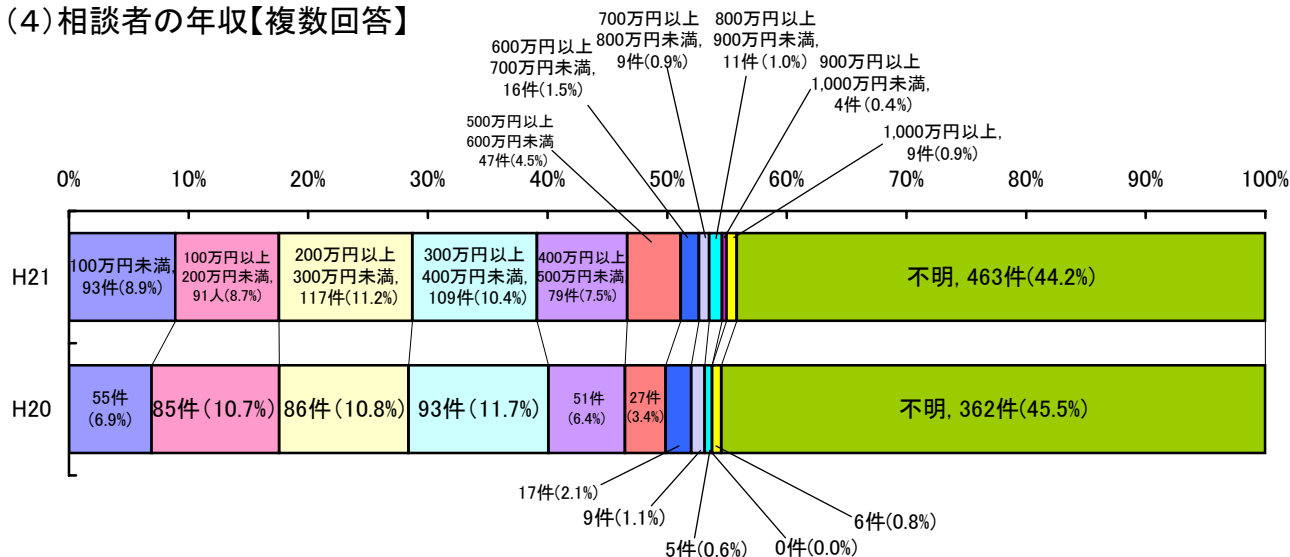
#### (2) 年齢



#### (3) 職業別



#### (4) 相談者の年収【複数回答】

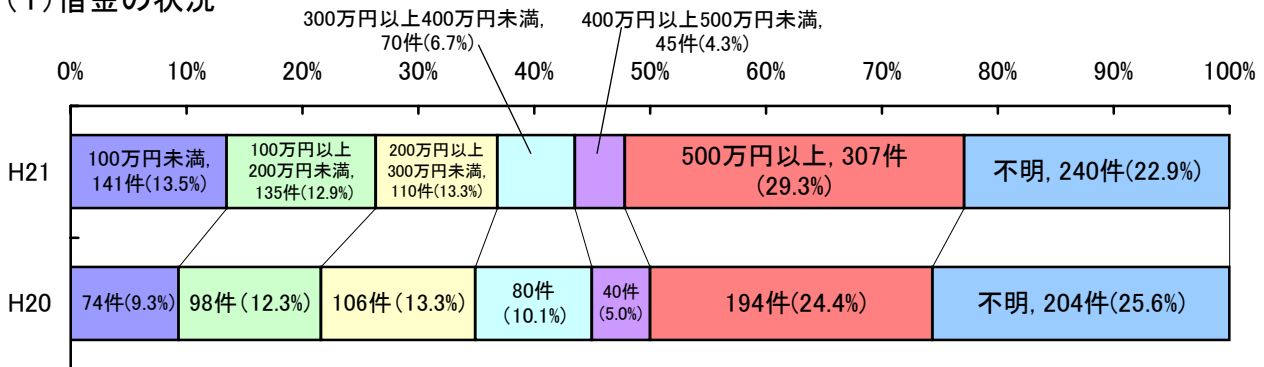


### 3 相談内容

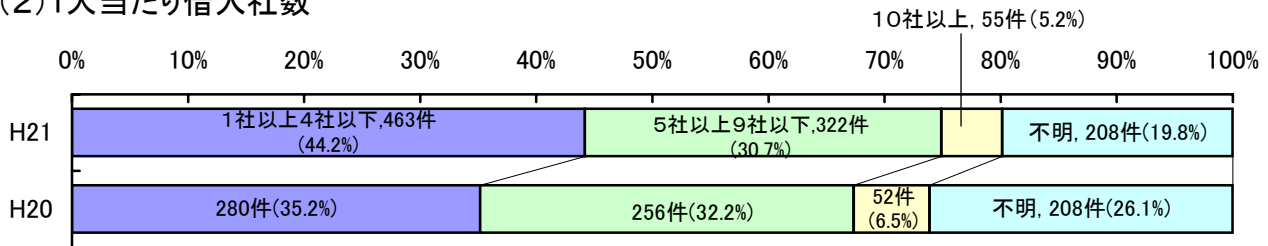
≫ 借入額「500万円以上」が増加、借金の理由は「低収入・収入の減少等」・「事業資金の補填」で全体6割程度

- ・ 借入金額別にみると、「500万円以上」が307件と最も多く、前年度に比べ件数・構成比ともに増加している。
- ・ 借金の理由別では、「低収入・収入の減少等」が324件と最も多く、「事業資金の補填」とともに大幅に増加した。

#### (1) 借金の状況

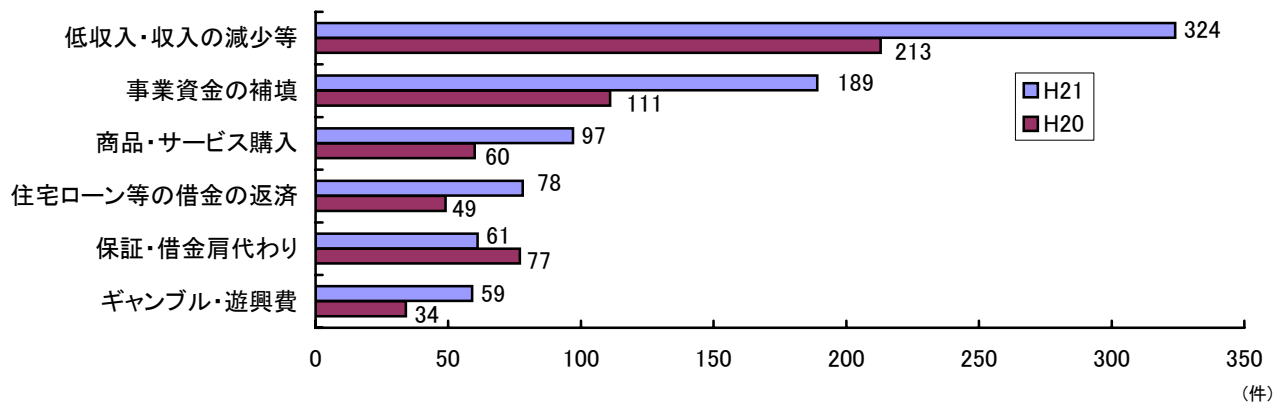


#### (2) 1人当たり借入社数



※ H21の不明には、借入該当なしを含む

#### (3) 借金をしたきっかけのうち主な回答(複数回答可)



### 4 弁護士会等専門機関への紹介件数

- ・ 相談を受け付けた1,048件に対し、法律の専門機関等を紹介(予約含む)した人は911件で、約9割を占めた。このうち、弁護士会が580件と半数を超えるほか、法テラスが264件、司法書士会が67件となっている。

注1: 1人の相談者に対し、複数の窓口を紹介している場合がある。

注2: 「法テラス」とは、法制度に関する情報や法律サービスの提供を目的に、総合法律支援法に基づき、平成18年4月に設立された法人。正式名称は「日本司法支援センター」。